岩手県高等学校文化連盟放送専門部

平成 24 年度 第 2 回理事会

平成 24 年 9 月 7 日(金)　15:00～17:00
盛岡北高等学校 南講義室

次第

開会
専門部長挨拶
自己紹介
議長選出

報告	1	平成 24 年度前半の事業報告・大会結果	3
協議	1	NHK 杯県大会決算報告	4
	2	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー開催要項	5
	3	新人大会開催要項	5
	4	セミナーサポート事業④番組講習会開催要項	5
	5	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会開催要項	5
	6	校内放送指導者講座等への顧問教員の派遣	5
	7	第 16 回東北高等学校放送コンテスト岩手大会について	5
	8	その他	5
連絡	1	部員数調査のまとめ	6
	2	平成 24 年度後半の事業日程	6
	3	高文連表彰について	6
	4	平成 25 年度以降の事業日程	7
	5	平成 25 年度以降の上位大会	8
	6	その他	9
閉会			

資料	平成 24 年度大会結果	9
	岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約	9

http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/bod20120907.pdf

平成 24 年度役員　(理事校　29)

専門部長	岩手県立盛岡北高等学校長	佐野武徳	事務局校
副専門部長	岩手県立盛岡第四高等学校長	須貝竹志	次期事務局校
専門部代表理事	岩手県立盛岡北高等学校	田口キヨ	**事務局長**

専門部理事

岩手県立盛岡第一高等学校	濱谷伸広・谷藤さなえ	平成 44～45 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	小田諭	平成 32～33 年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	渡邊憲二・斎藤信太郎	平成 34～35 年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	水車明子(**監事**)	次期事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	舟山美知・熱海千乃・川又謙也・中井絵美・佐藤昇広(**事務局**)	
岩手県立盛岡南高等学校	細川明典	平成 36～37 年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	佐々木裕子・岡垣百合奈	平成 38～39 年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	小林由美子・齊藤美保	
岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也・太田原章克	平成 40～41 年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	鈴木則子・高橋昭宏	平成 42～43 年度事務局校
盛岡市立高等学校	菊池博之(**監事**)・佐藤桂子	平成 46～47 年度事務局校
岩手高等学校	松田満(**盛岡支部理事**)・岡本久雄	平成 28～29 年度事務局校
盛岡白百合学園高等学校	熊谷奈穂・菅原浩	平成 30～31 年度事務局校
岩手県立花巻北高等学校	髙橋愛(**花巻支部理事**)	
岩手県立黒沢尻北高等学校	曽我範晃(**北上支部理事**)・舘昌章	
専修大学北上高等学校	昆洋子・野村学	
岩手県立前沢高等学校	小野寺幸利	
岩手県立岩谷堂高等学校	武藤秀郷(**奥州支部理事**)・千葉英美	
岩手県立千厩高等学校	久慈千鶴子(**一関支部理事**)	
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉(**気仙支部理事**)	
岩手県立釜石高等学校	髙橋篤志(**釜石支部理事**)・岩鼻清一	
岩手県立大槌高等学校	高橋啓・吉田哲郎	
岩手県立山田高等学校	岡田伸一郎	
岩手県立宮古高等学校	山崎治子(**宮古支部理事**)・小笠原潤	
岩手県立宮古工業高等学校	菊地達哉(**上位大会担当**)	
	NHK 杯運営委員・高文連全国放送専門部理事・東北大会事務局・東北アナ朗事務局	
岩手県立宮古水産高等学校	大石敦子	
岩手県立久慈高等学校	木村飛雄馬(**久慈支部理事**)	
岩手県立沼宮内高等学校	菊池久恵	
岩手県立福岡高等学校	松尾美幸(**二戸支部理事**)・馬淵祥介	

オブザーバー

岩手県立花北青雲高等学校	前田康男
岩手県立北上翔南高等学校	千葉隆
岩手県立杜陵高等学校宮古分室	高舘信子

報告 1　平成 24 年度前半の事業報告・大会結果

月	日	曜	事業名 (**太字**は生徒参加の事業)	会場	主催者 (**太字**は主催)
4	10	火	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	25	水	理事総会･第1回理事会	盛岡北高	**放送専門部**
5	18	金	**第64回岩手県高等学校総合体育大会開会式 司会** **(盛岡第一･盛岡第二)**	運動公園	協力事業 県高体連
5	21	月	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
6	4 5	月 火	**第35回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼** **第59回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会** **(28校･128名+283名･198エントリー)**	県民会館	**放送専門部･NHK**
7	2 3	月 火	**第12回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト** **(8校･23名･15エントリー)**	細野地区活性化センター	**東北高文連** **主管事業**
7	8	日	**アナウンス朗読講習会** **(8校･24名･15エントリー)**	NHK盛岡放送局	**放送専門部**
7	21	土	**交通安全テレビCM制作講習会1** **(4校･36名)**	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
7	23 26	月 木	**第59回NHK杯全国高校放送コンテスト** **(10校･72名･26エントリー)**	NHKホール他（東京）	全放連･NHK
7	26	木	**Nコン番組制作セミナー** **(4校･30名)**	NHK放送センター内会議室(東京)	全放連･NHK
8	4	土	**交通安全テレビCM制作講習会2** **(8校･71名)**	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
8	7	火	**短歌甲子園アナウンス講習会** **(9校･22名)**	おでって	協力事業 盛岡市
8	10	金	高文連全国放送専門部都道府県代表者会議	富山国際会議場	全国高文連
8	11 12	土 日	**第36回全国高等学校総合文化祭(富山大会)** **放送部門(7校･30名･10エントリー)**	富山国際会議場･富山市民プラザ	全国高文連
8	24 26	金 日	**第7回全国高校生短歌大会 司会** **(盛岡第一･盛岡第二･盛岡第三･盛岡北･盛岡市立･** **岩手･盛岡白百合･花巻北･宮古)**	姫神ホール･盛岡劇場	協力事業 盛岡市

おもな上位大会結果…18 ページ以降の「平成 24 年度大会結果」参照。県勢の全国大会入賞は次の 6 つ。

(1) 第 59 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

ラジオドキュメント部門県勢初の決勝進出

アナウンス部門	盛岡第二(2)	及川鈴蘭	入選(11～60 位相当)
朗読部門	盛岡第一(3)	阿部拓弥	入選(11～60 位相当)
	盛岡第一(3)	佐々木優	入選(11～60 位相当)
ラジオドキュメント部門	宮古工業	日記・2011 年 3 月	優秀賞(3～4 位相当)
創作テレビドラマ部門	盛岡第三	もの造り	制作奨励(11～20 位相当)
校内放送研究発表会	岩谷堂	「お昼の放送」が「学校の歴史」	研究奨励
	盛岡第三	次世代の番組制作環境へ向けて	研究奨励

(2) 第 36 回全国高等学校総合文化祭放送部門

オーディオピクチャー部門 2 年連続の入賞

オーディオピクチャー部門	盛岡第三	芽吹くものたち	優秀賞(最高賞)

今年度の高文連紀要の原稿は，NHK 杯については宮古工業に，全国総文祭については盛岡第三に，それぞれ依頼します。

協議 1　NHK 杯県大会決算報告

1 収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
1	参加料	160,000	154,000	-6,000	一般会計収C-01
2	県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3	専門部補助	100,000	42,993	-57,007	一般会計収D-04
4	強化費	10,000	0	-10,000	一般会計収D-03
5	一般会計より	10,000	0	-10,000	一般会計収B
合計		320,000	236,993	-83,007	

2 支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	報償費				
A-01	審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02	表彰費	45,000	42,360	2,640	楯(最優秀賞･優秀賞)
報償費小計		65,000	42,360	22,640	
B	旅費				
B-01	県大会関係	50,000	54,472	-4,472	第1回理事会･設営等
B-02	上位大会関係	105,000	30,980	74,020	担当者会議
旅費小計		155,000	85,452	69,548	
C	需用費				
C-01	食糧費	50,000	58,420	-8,420	審査員･係昼食
C-02	資料費	10,000	14,851	-4,851	事務用品
需用費小計		60,000	73,271	-13,271	
D	役務費	5,000	2,910	2,090	郵券･上位大会手続き･手数料
E	予備費	35,000	33,000	2,000	上位大会被災校参加料
総計		320,000	236,993	98,911	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 236,993 -236,993 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成24年9月7日　監査　菊 池 博 之

監査　水 車 明 子

・参加料収入が前年度決算額と比べて 6,000 円増えた。
・被災校の参加料免除，専門部会計の学校登録料免除をおこなった。
・支出決算額は前年度決算額と比べて 20,618 円の増加であった。
・被災校に対し東北アナウンス朗読コンテスト参加料 5,000 円を予備費から支出した。
・被災校に対し NHK 全国高校放送コンテスト参加料 28,000 円を予備費から支出した。

協議 2　セミナーサポート事業③　メディアコミュニケーションセミナー　開催要項

（省略 放送専門部のサイト参照→　http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/semi2012-3.pdf）

協議 3　新人大会　開催要項

（省略 放送専門部のサイト参照→　http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/shin2012.pdf）

協議 4　セミナーサポート事業④　番組講習会　開催要項

平成 24 年 11 月 24 日(土)　岩手県民会館　東北大会番組代表対象

実施要項は，関係各校に，新人大会後にお送りします。

協議 5　セミナーサポート事業⑤　アナウンス朗読講習会　開催要項

平成 24 年 12 月 23 日(日)　岩手県民会館　東北大会アナ朗代表対象

実施要項は，関係各校に，新人大会後にお送りします。

協議 6　校内放送指導者講座等への顧問教員の派遣

校内放送指導者講座(全放連主催)

平成 24 年 12 月 26 日(水)～27 日(木)　千代田放送会館(東京)

顧問対象の研修会。予算の執行状況，東北大会の準備状況をみながら，上位大会進出校の顧問の派遣，参加希望者の参加料補助などをおこないます。

他の都道府県の研修会等の行事も，放送専門部のメーリングリストで紹介します。

協議 7　第 16 回東北高等学校放送コンテスト岩手大会について

・平成 25 年 2 月 1 日(金)午後準備日，2 日(土)・3 日(日)が大会，会場は県民会館。

・大会事務局：宮古工業・菊地達哉，運営委員会を岩手県高文連放送専門部の役員全員で組織し，大会を運営する。→ 9/7 に承認

・9/15 の東北理事会に提案している要項等は次のとおり。

http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/tohoku2012.pdf

・予算，準備日程など運営の詳細については，9/16 の東北理事会をへて，次回の会合(10/10 のメディアコミュニケーションセミナーにあわせて開催)で示す。6 年前の予算・日程・係分担は当日配付した別紙のとおり。

・今後の主催行事ごとに準備会合を持つ。

協議 8　その他

連絡 1　部員数調査のまとめ

（省略　当日配付）

連絡 2　平成 24 年度後半の事業日程

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
9	16	日	**放送講習会 函館中部高校放送部･白鳥宏之先生**	県民会館	**放送専門部**
9	16	日	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	県民会館	**東北高文連 主管事業**
10	5	金	**第35回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式**	大船渡市民文化会館	県高文連 (気仙支部主管)
10	10	水	**メディアコミュニケーションセミナー**	県民会館他	**放送専門部**
11	6 7	火 水	**第35回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第30回岩手県高等学校放送新人大会**	県民会館	**放送専門部**
11	24	土	**番組講習会**	県民会館	**放送専門部**
12	23	日	**アナウンス朗読講習会**	県民会館	**放送専門部**
12	26 27	水 木	校内放送指導者講座	(東京)	全放連･NHK
2	2 3	土 日	**第16回東北高等学校放送コンテスト**	県民会館	**東北高文連 主管事業**
2	中旬		第3回理事会･会計監査	盛岡北高	**放送専門部**
3	下旬		第60回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	(東京)	全放連･NHK

連絡 3　高文連表彰について

次のとおり県高文連に推薦した。表彰は，県高総文祭総合開会式(10 月 5 日(金)，大船渡市民文化会館)でおこなわれる。

連盟賞(生徒表彰)…平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日に全国大会(総文祭・NHK 杯など)で優良賞(3 位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

・宮古工業高校放送委員会…
　第 59 回 NHK 杯全国高校放送コンテストラジオドキュメント部門優秀賞

・盛岡第三高校視聴覚委員会…
　第 36 回全国高等学校総合文化祭放送部門オーディオピクチャー部門優秀賞

功労賞(教職員表彰)…平成 23 年度末に退職した教職員で，専門部長・指導者として全国大会優良賞(3 位)以内に入賞したもの，指導者として全国大会に 10 回以上出品・出演させたもの(表彰規程は平成 24 年 4 月 13 日に改定，専門部事務局長は対象外となった)。

・今年度該当無し

連絡 4　平成 25 年度以降の事業日程

(1) 平成 25 年度の日程(確定)

月	日	曜	事業名 (**太字**は生徒参加の事業)	会場	主催者 (**太字**は主催)
4	中旬		理事総会･第1回理事会	盛岡北高	**放送専門部**
6	3 4	月 火	**第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第60回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会**	県民会館	**放送専門部･NHK**
7	1 2	月 火	**第13回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト**	細野地区活性化センター	**東北高文連 主管事業**
7	中旬		**アナウンス朗読講習会**	NHK盛岡放送局	**放送専門部**
7	22 25	月 木	**第60回NHK杯全国高校放送コンテスト**	NHKホール他 (東京)	全放連･NHK
7	25	木	**Nコン番組制作セミナー**	(東京)	全放連･NHK
8	2	金	高文連全国放送専門部理事会	(長崎県諫早市)	全国高文連
8	3 4	土 日	**第37回全国高等学校総合文化祭(長崎大会)放送部門**	諫早文化会館	全国高文連
9	中旬		第2回理事会	盛岡北高	**放送専門部**
9	15	日	**放送講習会**	県民会館	**放送専門部**
9	中旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(宮城県)	東北高文連
10	4	金	**第36回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式**	奥州市文化会館	県高文連 (気仙支部主管)
10	9	水	**メディアコミュニケーションセミナー**	県民会館他	**放送専門部**
11	5 6	火 水	**第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第31回岩手県高等学校放送新人大会**	県民会館	**放送専門部**
11	23	土	**番組講習会**	県民会館	**放送専門部**
12	23	月	**アナウンス朗読講習会**	県民会館	**放送専門部**
12	下旬		校内放送指導者講座	(東京)	全放連･NHK
2	8 9	土 日	**第17回東北高等学校放送コンテスト**	仙台市青年文化センター	東北高文連
2	中旬		第3回理事会･会計監査･盛岡第四高へ引継ぎ	盛岡北高	**放送専門部**
3	下旬		第61回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連･NHK

(2) 日程の原則と平成 26 年度会場予約の予定

ア　NHK 杯県大会(県民会館)

原則:　6 月第 2 週の月曜(準備・大会)・火曜(大会)…高総体後・考査前

候補日:　平成 26 年 6 月 2 日(月)-3 日(火)

イ　放送講習会(県民会館)

原則:　9 月 3 連休の中日

候補日:　平成 26 年 9 月 14 日(日)

ウ　メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)

原則:　10 月第 2 火曜(準備)・水曜(行事)…高総文祭開会式後

候補日:　平成 26 年 10 月 8 日(水)または 10 月 15 日(水)…高総文祭開会式の日程による

エ　新人大会(県民会館)

原則:　11 月第 2 週の火曜(準備・大会)・水曜(大会)…運動部の新人大会後・考査前

候補日:　平成 26 年 11 月 4 日(火)-5 日(水)

連絡 5　平成 25 年度以降の上位大会

(1) 確定している日程等

ア　NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

平成 25 年 7 月 25 日(木)　　平成 26 年 7 月 24 日(木)

イ　全国高等学校総合文化祭開催県

平成 25 年長崎県→平成 26 年茨城県→平成 27 年滋賀県→平成 28 年広島県→平成 29 年宮城県

ウ　東北高等学校放送コンテスト開催県

平成 25 年度宮城県→平成 26 年度山形県→平成 27 年度秋田県→平成 28 年度宮城県→平成 29 年度青森県→平成 30 年度岩手県

秋田から時計回りを原則とする。21 年度からの 3 回りめのローテーションでは，23 年度の全国総文祭に備えて 22 年度に福島県を入れ，他をずらした。27 年度からの 4 回りめのローテーションでは，29 年度の全国総文祭に備えて 28 年度に宮城県を入れ，他をずらす可能性もある。

(2) 平成 25 年度 NHK 杯の朗読指定作品　http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/

1)「夏草冬濤」井上靖(新潮文庫)
2)「語りかける花」志村ふくみ(ちくま文庫)
3)「茨の木」さだまさし(幻冬舎文庫)
4)「みずうみ」シュトルム著，関泰祐訳(岩波文庫，指定された訳者のみ)
5)「枕草子」清少納言(現代語訳不可，出版社不問)

(3) 平成 25 年度 NHK 杯 60 周年記念企画(別紙)　http://www.nhk.or.jp/event/n-con/

・校内放送自慢「総選挙 DE 生ライブ」…平成 24 年 11 月 26 日～12 月 14 日に募集。校内放送の様子を VTR で応募，1 次審査で 10 校，都道府県大会等での投票で 3 校を選び，平成 25 年 7 月 25 日に NHK ホールで実演。

・「花は咲く」ミュージックビデオ…平成 25 年 1 月～5 月に募集。平成 25 年 7 月 25 日に NHK ホールで入賞作品を上映。

(4) 平成 25 年度全国総文祭放送部門について

・規約の改定…全国高文連の公益社団法人化にともなう改定作業をすすめている。今年度は，専門部の名称を「高等学校文化連盟全国放送専門部」に，都道府県代表者会議を全国「理事会」と改めた。来年度は理事会で規約の改正をおこなう。

・表彰…平成 24 年(富山大会)から，発表時間帯でブロックに分け，個別審査で各ブロックから優秀賞 1・特別賞を出し，個々の審査点を都道府県ごとに加算して第 1 位の都道府県に文部科学大臣賞を，第 2 位に文化庁長官賞を出すこととした。平成 24 年度の文部科学大臣賞は富山県，文化庁長官賞は北海道が選ばれた。

・表彰に関する問題点…開催県は倍エントリーであるため複数ブロックに入ることとなり，文部科学大臣賞に選ばれやすい。開催県を 1 ブロックに収める必要があろう。また，今年度は開催県の都合で都道府県ごとの発表がばらばらにされてしまった。交流の場という「開催基準」にあわない実態となっており，これももとに戻す必要があろう。

・各部門における都道府県単位の発表(岩手案)については，長期的に検討することとなった。他の都道府県との連携を図り，NHK 杯とは異なる大会を実現したい。

(5) 平成 25 年度・26 年度全国総文祭放送部門の要項

(省略　当日配付)

(6) 平成 25 年度全国総文祭のブロック

全国理事会での抽選の結果，次のとおりとなった。

・アナウンス部門…ブロック E(岩手・福島・山形・広島・長崎・宮崎)

・朗読部門…ブロック G(岩手・群馬・埼玉・神奈川・三重・岡山)

・オーディオピクチャー部門…ブロック G/H(茨城・神奈川・静岡・奈良・福岡・鹿児島 / 岩手・山形・愛媛・佐賀・宮崎・沖縄)

・ビデオメッセージ部門…ブロック H(岩手・山形・愛媛・佐賀・宮崎・沖縄)

連絡 6　その他

・県高文連 30 周年記念誌完成，7 月刊行

(省略　各校配布済み)

・もりおか映画祭(10/19-21)での，大友啓史監督とのイベントについて

・盛岡支部放送専門部番組講習会について…リクエストは盛岡支部理事・松田先生へ

資料　平成 24 年度大会結果

(省略　放送専門部のサイト参照→　http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/)

資料　岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

(省略　第 1 回理事会資料参照→　http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/bod20120425.pdf)